

## お母さんの反応

健診終了後、「だっこだっこ」の絵本についてなどのアンケートを行いました。その中から幾つかを紹介します。

○とてもありがたいです。どのような絵本を買っていいのか分からないのでお手本になりました。子どもとのスキンシップにもつながります。

○絵本を赤ちゃんのうちから読んであげることはありませんでしたので、これから読んであげたいです。

○世界で1冊だけの絵本なので記念になりました。

○だっこしてぎゅーとすると、子どもはとても落ち着くしうれしがるので、絵本に描いてあったようにぎゅーつと抱きしめたいと思います。絵本を読むと子どもとの会話も増えるので、本を読むことは大切だと思います。

○小さい子どもを連れて図書館に行くのはいいですね。時間をみつけて利用したいと思います。

## Interview

乳児健診を終えたお母さんに聞きました。

武本 ひろこ  
**博子さん**  
しゅんと  
**駿都くん**  
(調川・江口1)



乳児健診で、「だっこだっこ」の読み聞かせをしてもらったら、子どもから笑顔も出ていたし、とても興味を持って見ているなど感じました。内容も分かりやすく、よかったですね。これまで、あまり子どもに読み聞かせをしてあげられなかったのですが、これからは、「だっこだっこ」を活用してスキンシップを図ったり、図書館で絵本を借りて読んで聞かせたいと思います。

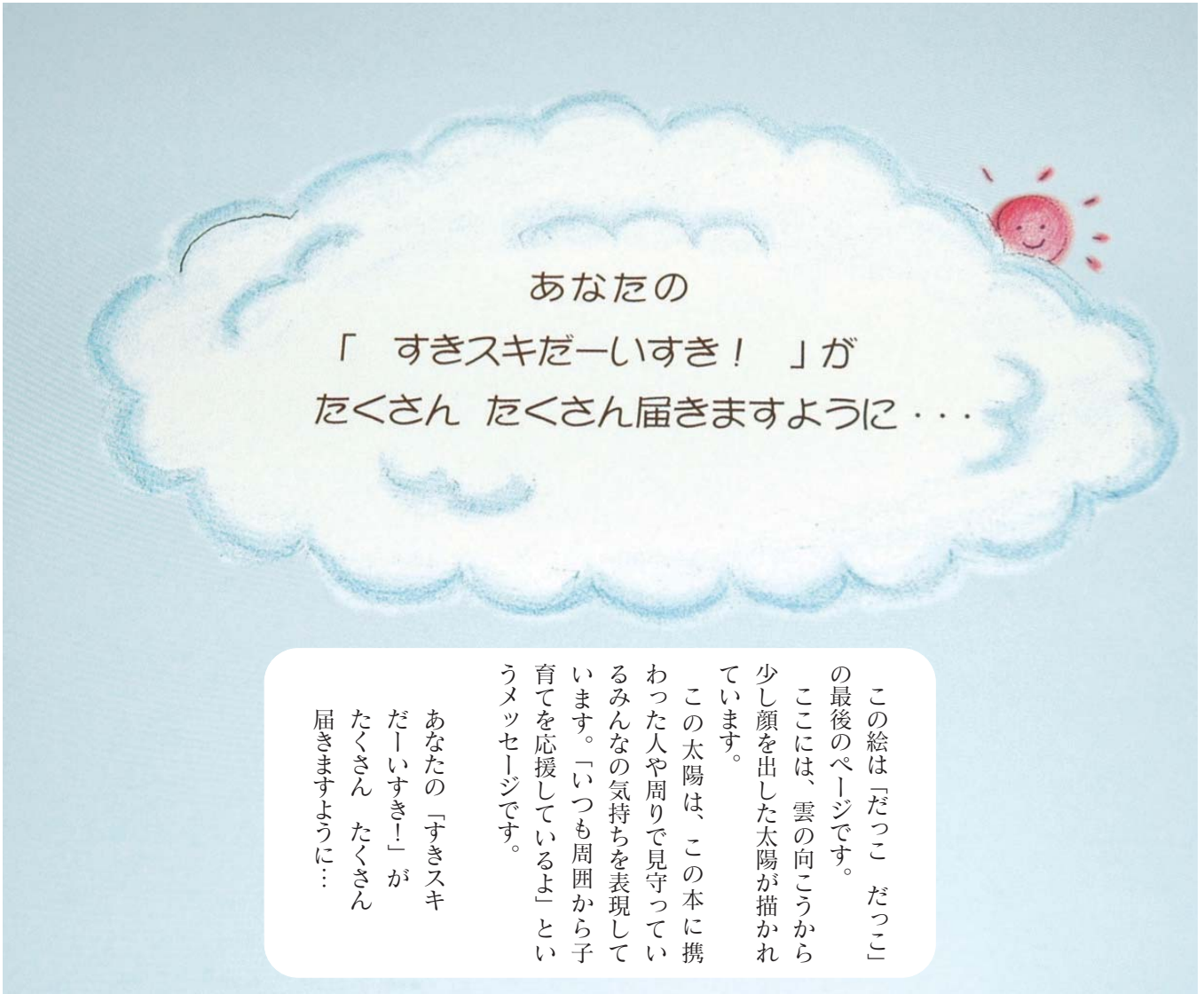


田中 あずさ  
**梓さん**  
たいし  
**敦志くん**  
(志佐・下高野)



絵本の内容が、仲良く触れ合っている動物の親子が描いてあって、私たち親子が実際にスキンシップが取れるようになっていきます。日ごろからスキンシップを大切にしている私たち親子にとって、たくさん活用できそうですね。名前を入れたり写真や手形も入れてあって、世界に一つしかない自分たちの絵本となっているので、この絵本は宝物にします。





この絵は「だっこ だっこ」の最後のページです。ここには、雲の向こうから少し顔を出した太陽が描かれています。

この太陽は、この本に携わった人や周りで見守っているみんなの気持ちを表現しています。「いつも周囲から子育てを応援しているよ」というメッセージです。

あなたの「すきスキだーいすき！」が  
たくさん たくさん  
届きますように…

Interview

「だっこ だっこ」の作製に関わった人に聞きました。



子育て・こども課 荒木 典子 さん

**親子のスキンシップに役立てて**  
核家族が多い現代では、子育てに関してアドバイスをしてくれたり相談に乗ってくれたり、身近で一緒に子育てをしてくれる人があまりいません。育児書を見て子育てをするお母さんが増えていきます。スキンシップの図り方が分からないというお母さんが増えてきている今だからこそ、「だっこ だっこ」が、その方法を見出せるきっかけになればいいなと思います。

**愛情と優しさを受け継いで**  
絵本の読み聞かせには、赤ちゃんはお母さんの愛情を感じることができ、お母さん自身も癒されます。そしてお母さんが、子どもをもっともつと愛したいという気持ちを強くさせるような力があると思います。そうやって愛情をいっぱい受けて育った子どもは、自分が親になったときに、また同じように自分の子どもにも優しくできるでしょう。

**心地よい思い出になればうれしい**  
「だっこ だっこ」が、単なるオリジナル絵本としての思い出だけにとどまることなく、「だっこ だっこ」を通して、お母さんと過ごした心地よい思い出として残っていけたらうれしいですね。

特集 世界にたった一つのオリジナル絵本 親子の絵本「だっこ だっこ」 | 終わり